

## 第1回 中部圏大深度地下使用協議会の議事概要

- 日時 : 平成13年度5月24日(木) 15:00～
  - 場所 : KKRホテル名古屋 3階芙蓉の間
- ー主なやりとりは以下の通りですー

### 【大深度地下利用の現状・見込み】

- ・高速道路では名古屋高速1号線の東山トンネルで工事中の事例がある。都市排水では千種台付近で事例がある。この地域は都市化が著しいので、排水対策にまた事例が出てくる可能性はある。(岡野中部地方整備局長)
- ・現在営業線で一番深いものは、地下鉄鶴舞線の30メートル。工事中的ものでは名城線が東山線をくぐる部分で32メートル程度。今後高速鉄道が市街部に乗り入れられるような場合には、さらに深い部分を利用する可能性がある。(津野田中部運輸局長)
- ・通信ケーブルについては、電力、高速道路、鉄道の事業者と思惑が合えば共同して整備していくということは考えられる。(伊丹東海総合通信局情報通信部長)
- ・中部電力の配線等が地中深く入っていく可能性がある。(足立中部経済産業局産業企画部地域振興課長)

### 【今後の進め方】

- ・具体的な事業計画が出てきた場合には、事業区域に関係する消防機関の参加をお願いしたい。

### 【その他】

- ・法律に基づく対象地域の指定と土地所有者の権利制限の関係について。  
→大深度地下の公共的使用に関する特別措置法の対象地域に指定されたことをもって土地所有者に権利制限が起るものではなく、法律に基づき使用の認可がされ事業者側に使用権が設定されてはじめて土地所有者に行為制限がかかる。
- ・大深度地下使用協議会の情報公開について  
→大深度地下の公共的使用に関する基本方針にあるとおり、非公開として扱うべきものを除いては、広く一般への公開に努める。